

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		すぎなみ環境目的税				整理番号	115		枝番号					
担当部課名		区民生活部課税課		コード	050701	連絡先電話番号	1212		昨年度整理番号	119	昨年度枝番号			
係名					税務管理係		上位施策名			No				
予算事業名							環境配慮行動の推進			18				
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		13年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		すぎなみ環境目的税の施行及び廃止に向けた準備を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		レジ袋の受取りを辞退することにより、大量消費、大量廃棄の生活習慣を見直し、環境に配慮した生活活動へと変化を促す。					
	活動指標名(式)		(1) すぎなみ環境目的税の周知用リーフレットの作成		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 景気動向資料の収集					
								(2)						

  

区分	単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	枚	41,040	40,700	10,000	0	0	0			
	活動指標(2)	回	1	1	1	0	0	0			
	成果指標(1)	回	1	1	1	0	0	0			
	成果指標(2)	回	1	1	1	0	0	0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	4	5,702	1,000	0	0	0	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費	千円	0	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤   非常勤)	人	1.83   0.00	1.70   0.00	1.70   0.00	0.30   0.00	0.30   0.00	0.10   0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	16,653	15,402	15,402	2,718	2,718	906		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	16,657	21,104	16,402	2,718	2,718	906			
	単位あたりコスト( - )÷	円	0	1	2	0	0	0			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	16,657	21,104	16,402	2,718	2,718	906			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

  

18年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	その他 ( )				0

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 115 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	0.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成14年3月すぎなみ環境目的税条例可決。			
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	本税制の目的であるレジ袋の使用抑制については概ね賛同を得ているが、税の施行については賛否両論がある。			
	今後の予測	レジ袋の有償実験を経て、又レジ袋の有料化への議論推移を見守りながら、有料化の後にはすぎなみ環境目的税の廃止を行う。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由 )	理由: 廃止が想定されるため			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 廃止が想定されるため			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 廃止が想定されるため			
	(4) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容:			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題			
	(3) 協働等の形態				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			環境学習の推進				整理番号	656		枝番号					
担当部課名			環境清掃部環境課		コード	230101		連絡先 電話番号	3398-3195		昨年度 整理番号	675		昨年度 枝番号	
係名			環境活動担当				上位施策名			No					
予算事業名			環境学習の推進		コード	66050		環境配慮行動の推進			18				
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 3 施策番号 2 事業コード 6 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等			(1) 環境基本条例			(2) 環境基本計画			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在住、在勤、在学者					(1) 環境基本条例			(2) 環境基本計画			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			環境学習:環境リーダー養成講座、子ども・親子環境学習を実施する。 自然観察会:参加者を募集して、植物や昆虫、鳥などの観察会を実施する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)			環境学習:環境問題を自らの問題と捉え、積極的に環境配慮行動に取り組む区民を数多く創出する。 自然観察会:生態系全体を学ぶことにより、自然の大切さ、環境保護への意識を育てる。						
	活動指標名(式)			(1) 環境学習:受講者数 (2) 自然観察会:実施回数		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標			(1) 修了者数 (2) 参加者数						
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画		目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		人	153	240	174	210	95	210	210	45.2				
	活動指標(2)		回	4	1	1	2	2	130						
	成果指標(1)		人	153	60	171	210	95	10	10	950.0				
	成果指標(2)		人	140	50	24	60	38	60						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,926	2,188	1,093	2,180	2,091	2,178	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0						
	(内) 委託費		千円	352	362	361	1,732	1,150	1,732						
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.50	0.70	0.70	0.50	0.10	0.60	0.10	0.40				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,550	6,342	6,342	4,530	5,436	3,624					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	283	283	0					
	総事業費 ++		千円	6,476	8,530	7,435	6,993	7,810	5,802						
	単位あたりコスト( - )÷		円	42,327	35,542	42,730	33,300	82,211	27,629						
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	6,476	8,530	7,435	6,993	7,810	5,802							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)					
			環境リーダー養成講座					15	講座	1,344					
			子ども・親子環境学習(委託等)					6	講座	386					
			自然観察会					2	回	26					
			環境学習用パソコン・プリンタリース料					12	月	151					
			その他 ( )							184					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 656 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	45.2	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	95.9
		環境リーダー養成講座における講師料の残が大半をしめる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		環境リーダー養成講座については、NPO団体に委託。また、年1回17講座とし、環境リーダーを養成するにふさわしい内容とした。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	環境への意識が高い修了生が、地域や学校などで、環境学習等のサポートとして活躍している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	修了生の活動がスムーズに行える講座プログラムを希望する声が多い。					
	今後の予測	環境学習がいろいろな場で実施されている中で、より質の高い講座を実施する必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 修了者は、様々な分野で活動している。今後、環境配慮行動を地域に根ざすための核となることを期待している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 環境に関心のある多く区民が参加したい気持ちになるような、魅力ある講演内容とする。また、周知方法について検討をする。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 保険料の実費相当分は受益者負担とした。受講料の徴収は、様々な機関が同様の講座を実施している中で、区が実施している意義が薄れてしまうこととなる。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 自然観察会について、区民との協働を検討する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	環境学習分野を専門とするNPO法人に委託し、講座の内容は、豊富なノウハウを生かした、優れた講座となっているが、受講者の募集や開講時の立会いなど、職員がかかわる場面がまだまだ多い。					
	(3) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 環境リーダー養成講座、子ども・親子環境学習について、NPO法人に委託し継続する。募集周知方法の再考をし、多くの区民に参加してもらうことにより、より効果をあげていく。自然観察会については、区民との協働を推進する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 環境リーダー養成講座について、地域大学への移行を含め、さらに検討する。また、子ども・親子環境学習については、内容豊富で質の高いものを引き続き行う。自然観察会については、協働可能な団体等の発掘を行う。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 委託の拡充については、これまで事業の立会いを行ってきたが、平成20年度から事業の募集以外すべて受託者に任せらる。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		すぎなみ環境カエルくらぶ活動支援				整理番号	657	枝番号			
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230101	連絡先 電話番号	3398-3195	昨年度 整理番号	676	昨年度 枝番号	
係名		環境活動担当				上位施策名		No			
予算事業名		環境配慮行動の充実		コード	65760	環境配慮行動の推進		18			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		14 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民、世帯、環境団体、事業者				根拠法令等 (1) 杉並区環境基本条例 (2) 杉並区環境基本計画 (3)				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		区民が自ら企画・運営するすぎなみ環境カエルくらぶは、誰もが気楽に参加できる環境配慮行動を実践するとともに、その取り組みを幅広く区民に呼びかけ拡充している。当くらぶは、部会制をとっており、毎月1回中杉通りと高南通りの路上清掃や落ち葉の堆肥づくり、蝶を街に呼びのための食草を植えたりと多様な方法で環境に配慮した活動をしている。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 多様な行動プランを区民に提供できるよう組織基盤を強固なものにする。また、財政面においても自立し、NPO法人化に向けて活動する。				
	活動指標名(式)		(1) 事業実施数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 会員登録数 (2)				
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)	回	113	128	125	125	97	125	210	46.2	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	人	40	200	60	100	207	230	10	2070.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,639	2,000	1,097	1,685	1,197	1,500	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円									
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.80	0.60	0.60	0.60	0.70	0.60			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,280	5,436	5,436	5,436	6,342	5,436		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	8,919	7,436	6,533	7,121	7,539	6,936			
	単位あたりコスト( - )÷	円	78,929	58,094	52,264	56,968	77,722	55,488			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	8,919	7,436	6,533	7,121	7,539	6,936			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		すぎなみ環境カエルくらぶ活動支援							1,197		
		その他 ( )							0		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 657 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	77.6	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	71.0
		当くらぶの実践活動に必要な機材等は、リサイクルを心がけている。その結果である。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		機材等がある程度揃い、補助金額を50万円削減した。今後も補助金を見直して行く必要がある。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	当くらぶは、積極的に環境配慮行動に取り組み、多くの区民、事業者等から賛同を得て活動を行ってきた。会員数も増加している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	環境美化活動をはじめとする多くの活動に、区民の関心が高まっている。					
	今後の予測	地球温暖化防止活動をはじめ多様な活動プランを提供する当くらぶは、自らの行動を核に、地域に根づく環境配慮行動の輪を拡大していく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 様々な環境問題を解決するためには、一人ひとりが環境配慮行動の必要性和重要性を理解することが必要。当くらぶが活発に活動することで、理解者を増加させている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 環境博覧会等の行事に積極的に参加し、当くらぶで作成したチラシ等を配布し環境配慮行動への参加を呼びかけている。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	当くらぶの運営は、区の補助事業である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 当くらぶで作成するチラシ等は、材料を購入し、手作りするなどの工夫する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	当くらぶは、できるだけ早い時期に組織基盤を強固なものにして、財政的に自立を図れるようにする。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 当くらぶが、地域に根ざした環境配慮行動を行うには、組織基盤の強化が必要である。区は、運営を側面から支援するとともに、当くらぶのPRに取り組み、当くらぶが事業者等との連携に寄与することがたいせつである。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 当くらぶは、まだ認知度が低い。組織基盤を強固にするためにも会員数の増加がこれまで以上に必要である。そのためには、活動を通し賛同者を募ることが基本となる。区は、活動に対し共催など側面から支援するとともに当くらぶのPRに努める。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 当くらぶの組織基盤が強固なものになるまで、財政支援は必要と考えているが、補助金を減額していく方向で検討していく。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ISO14001の推進				整理番号	664		枝番号						
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230106	連絡先 電話番号	3705		昨年度 整理番号	683	昨年度 枝番号				
係名 計画担当					上位施策名				No						
予算事業名 ISO14001の推進					コード		66100		環境配慮行動の推進			18			
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		11 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(3)	施策番号		事業コード	7
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他						(1) 杉並区環境方針 (2) 杉並区環境マネジメントシステム (3) 杉並区環境管理システム構築支援補助金交付要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			区がISO14001の認証を取得し、率先して環境配慮行動に取り組むと共に、区内事業者による環境マネジメントシステム構築の支援をする。						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 国際規格であるISO14001のシステムに基づき、区及び職員が率先して環境配慮行動に取り組むとともに、事業者による自主的な取り組みを支援することにより、杉並区の地域としての環境配慮行動の推進を図る。					
	活動指標名(式)			(1) 認証取得、定期審査又は更新審査 (2) 環境目的・環境目標の達成(各年度該当項目)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 主な省エネルギー・省資源の実績による二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )排出量 (2) 区の支援事業により環境マネジメントシステムを構築した事業者数					
指標		区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%				
					計画	実績	計画	実績							
		活動指標(1)	回	1	1	1	1	1	1	1	100.0				
		活動指標(2)	件	47	62	45	58		51						
		成果指標(1)	kg-CO <sub>2</sub>	11,096,427	11,599,826	11,597,040	15,927,246		15,878,010	15,155,532	0.0				
		成果指標(2)	件	0	8	1	8	5	8	13	38.5				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,981	7,697	4,632	5,869	3,948	6,980	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等		千円												
	(内) 委託費		千円	2,140	3,061	2,876	1,540	1,344	2,608						
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.74	2.10	2.50	2.50	2.16	2.16	成果指標(1) Kg-CO <sub>2</sub> 欄の17年度と18年度数 値の差は地球温暖化 対策の推進に関する法 律施行令第三条が平 成18年3月24日一部改 正し、排出係数が変更 になったことによるも の。					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	15,834	19,026	22,650	22,650	19,570	19,570						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++		千円	18,815	26,723	27,282	28,519	23,518	26,550						
	単位あたりコスト( - )÷		円	18,815,000	26,723,000	27,282,000	28,519,000	23,518,000	26,550,000						
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0							
差引: 一般財源 -		千円	18,815	26,723	27,282	28,519	23,518	26,550							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)					
		ISO14001定期審査業務委託						1	件	1,086					
		ISO14001認証取得助成						5	件	1,833					
		事業者セミナー・ガイダンス開催						0	件	0					
		その他 ( )							件	1,029					

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 664 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	67.3
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区が開催を予定していた事業者セミナー・ガイダンスとエコアクション21地域事務局 東京中央主催のエコアクション21導入セミナーが、ほとんど同時期開催だったため、先行していたエコアクション21導入セミナーを後援することとし、当日、区の支援策として環境管理システム認証取得補助事業の説明をした。区内31社参加(17年度36社参加)					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区長による環境方針の策定を踏まえ、平成13年6月1日からシステムの運用を開始し、同年10月12日にISO14001の認証を取得した。外部審査については、2004年版規格改訂審査・18年度定期審査を受審、規格に基づきシステムが維持管理されていると判定された。省エネ行動については一定の定着は見られるものの使用量は増加傾向にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	環境マネジメントシステムの中で、システムの運用等に関する区役所内外からの情報の集約を定めており、その中で区の継続した努力や中・長期的な取組を望む意見が寄せられている。また、ISO報告書に関し、削減効果やより分かりやすい情報提供を望む意見がある。					
	今後の予測	引き続き、行政の率先行動として、ISO14001環境マネジメントシステムの継続的改善を図る必要がある。また、地域における環境配慮行動推進の一環として、事業者等の自主的な取組みに対する区の積極的な支援が必要と考えられる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 区自らが、環境負荷・環境保全の両面について率先行動として継続的改善に取り組むことにより、区民・事業者の自主的な取組を促進するなど、地域における環境配慮行動の推進に寄与することができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 区役所のISO14001の推進について、執行内容・方法・体制を見直し、効率化を図ることはできると考える。 理由または具体的内容: ISO14001はシステムの進行管理等であるため、具体的な成果の向上はシステムに関連する個々の事務事業(省エネ設備機器の拡充や緑化推進事業の充実など)に負うところが大きい					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 区役所のISO14001の推進については、受益者負担の考え方になじまない。地域におけるシステムの普及は、事業者の自主的な取組見に対する行政の支援であり、効果的な支援内容を常に検討する必要がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 区役所のISO14001の推進については、引き続き、事務の効率化を検討実施する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題協働等の今後のあり方: 行政の率先行動としてISO14001を推進すると共に、区内事業者等による自主的な取組みが不可欠である。区は自らを公表することで事業者等の取組を促進し、情報提供や認証取得費用の一部助成、効果的な支援策を実施することで、協働して地域における環境マネジメントシステムを普及促進していく。中小規模事業者向け環境マネジメントシステムとして、環境省が後押しをしている「エコアクション21」については、区内NPO法人が認証取得のためのコンサルティング、審査人の役割を担っている。区内事業者の環境マネジメントシステム認証取得はこうしたNPO法人と協力して普及に努めていく。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事務執行の効率化を図りつつ、引き続き、区役所の環境マネジメントシステムの継続的改善を推進する。 区内事業者の認証取得支援については、システムの構築を目指す区内事業者に対する積極的な支援を、対象者数を徐々に増やしながら実施する。長期的には具体的な取組支援の事業実施を区内の専門家(団体)に担ってもらえるような制度が考えられる。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	地域における環境配慮行動の拡充を図るため、環境マネジメントシステムの構築を目指す区内事業者に対する補助対象者数を順次増やしていく。



# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自然保護の啓発				整理番号	678		枝番号			
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230101	連絡先 電話番号	3398-3195		昨年度 整理番号	698	昨年度 枝番号	
係名		地球温暖化対策担当				上位施策名			No			
予算事業名		自然環境保全		コード	67100	環境配慮行動の推進			18			
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		60年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 3 施策番号 2 事業コード 6 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 自然環境保全体法 (2) 環境基本法 (3) 東京都における自然の保護と回復に関する条例					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並の生き物アンケート調査協力者		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 自然保護の意識を育むとともに、5年ごとに実施する杉並の生き物アンケート調査(2年間)に関する情報を提供し、杉並の自然環境の変化について認識を深める。					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並の生き物アンケート調査協力者に対し、年5回、会報「すぎなみの街と自然」を送付する。		活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
			(1) 会報の発行回数 (2)		(1) アンケート回収率 (2) (代)会報の延べ送付者数							
指標		区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
					計画	実績	計画	実績				
		活動指標(1)	回	3	5	5	5	5	5	5	100.0	
		活動指標(2)										
		成果指標(1)	%		30.0	38.4	40.0	30.1		70.0	43.0	
		成果指標(2)	人				3,750	1,071	3,750	3,750	28.6	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	306	736	538	735	537	735	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成19~21年度は、アンケート調査を実施しない。		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.20	0.40	0.40	0.30	0.20	0.40	0.10	0.40	0.10
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,820	3,624	3,624	2,718	3,624	3,624		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	566	283	283		
	総事業費 ++		千円	2,126	4,360	4,162	4,019	4,444	4,642			
	単位あたりコスト( - )÷		円	708,667	872,000	832,400	803,800	888,800	928,400			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	2,126	4,360	4,162	4,019	4,444	4,642				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		会報「すぎなみの街と自然」の発行						5	回	537		
		その他 ( )								0		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 678 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	73.1
		アンケート調査協力者を追加公募したが、計画人数に達しなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		会報の配布を電子メールで送信することは実現していない。またアンケート調査協力員の拡大も思うように図れなかった。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	杉並の生き物アンケート調査協力員 H15 647人 H18 210人					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	環境団体と連携し、民間の人材を積極的に活用し調査を実施するため、会報の発行を継続する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:区内の身近なテーマを題材にしているため、自然への愛着心が深まるとともに環境の変化などに関心を持ち、環境配慮行動の推進に十分貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ )	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容:積極的に公募し、調査員の拡大を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:会報は、貴重な動植物の生息状況を把握するアンケート調査の協力員に送付しており、受益者負担はできない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ある [OA化] (具体的内容 )	理由または具体的内容:配布方法を郵送からメールに変更する。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 会報記事の原稿作成を動植物の専門家に依頼している。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 会報の配布については電子メールで送信することで、郵送料等の削減を図る。また調査協力員数の拡大を図っていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 調査協力員は高齢の方が多く、電子メールを利用できない方も相当数いると考えられる。同じく調査協力員の高齢化により、人数が減少してきているので、積極的な公募をしていく必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 引き続き会報の発行を行う。	

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自然保護の啓発				整理番号	679		枝番号					
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230101	連絡先 電話番号	3398-3195		昨年度 整理番号	699	昨年度 枝番号			
係名		地球温暖化対策担当				上位施策名			No					
予算事業名		自然環境保全		コード	67100	環境配慮行動の推進			18					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	(3)	施策番号	事業コード	6
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				根拠法令等 (1) 自然環境保全法 (2) 環境基本法 (3) 東京都における自然の保護と回復に関する条例							
	購入希望者						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 生き物の名前や生息地を知り自然を身近に感じ、環境保護の意識を育む。また動植物の生息状況を正確に把握し記録に留め、自然保護の指標とする。							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		「杉並区自然環境調査報告書」を5年毎に発行する。調査は前年・前々年度に実施する。「杉並区河川生物調査報告書」を5年毎に発行する。調査は発行年度に実施する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 生き物の名前や生息地を知り自然を身近に感じ、環境保護の意識を育む。また動植物の生息状況を正確に把握し記録に留め、自然保護の指標とする。							
活動指標名(式)		(1) 「杉並区自然環境調査報告書」発行部数 (2) 自然環境調査委託者数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)自然観察会参加人数 (2)								
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%				
指標	活動指標(1)		部					300						
	活動指標(2)		人		4	4	4	4	4	100.0				
	成果指標(1)		人	217	50	24	60	38	60					
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,178	14,500	13,784	9,995	9,671	8,980	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円	9,178	9,000	13,724	9,000	9,000	8,800					
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.50	0.70	0.70	0.50	0.20	0.50		0.20			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,550	6,342	6,342	4,530	4,530		4,530			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	566	566		566			
	総事業費 + +		千円	13,728	20,842	20,126	15,091	14,767	14,076					
	単位あたりコスト( - )÷		円						46,920					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	13,728	20,842	20,126	15,091	14,767	14,076						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		第5次杉並区自然環境調査(委託等)						4	人	9,000				
		その他 ( )								671				

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 679 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	96.8
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		引き続き、杉並版レッドデータブックの発行に向け、調査した。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	杉並区が力を入れていると評価できる施策(杉並区区民意向調査より) 公害・環境対策と省資源・リサイクル施策 H13 14.3% H14 22.5%				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	自然の生態系全体を知ることにより、自然の大切さ、環境保全の意識が生まれてきた。				
	今後の予測	自然環境調査・河川生物調査報告書は、区が行う唯一の生物調査であり、その意義は大きい。また専門家にも高い評価を得ており、継続する必要がある。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 調査報告書は、自然保護を啓発していく上での貴重な指針であり、貢献度は大きい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: ホームページに掲載している報告書を、さらに広くPRし、調査の意義を訴えていく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 「杉並区自然環境調査報告書」を1,600円、「杉並区河川生物調査報告書」を1,000円で頒布している。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 発行部数を縮小する。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 自然環境調査は動植物の各専門家に委託。報告書作成は企業に委託している。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 杉並区に生息している動植物を記録に留めておくことは、区の大切な財産となっていく。今後も定期的な調査・報告は維持すべきである。また平成19年度発行の第5次報告書から、発行部数を縮小する。 杉並版レッドデータブックの発行に向け、調査検討を継続する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 杉並版レッドデータブックの作成には様々な課題が山積しているため、一つずつ解決していく必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 平成20年度は、調査、報告書の発行が無い年度となるため予算は不要となる。		

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		すぎなみ環境情報館					整理番号	680	枝番号					
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230101	連絡先 電話番号	3398-3195	昨年度 整理番号	700	昨年度 枝番号				
係名		地球温暖化対策担当			上位施策名			No						
予算事業名		すぎなみ環境情報館維持管理		コード	69705	環境配慮行動の推進			18					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		16 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(3)	施策番号		事業コード	6
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 施設を利用する区民・環境団体・その他団体・事業者など				根拠法令等		(1) 杉並区環境基本条例 (2) 杉並区環境基本計画 (3) 杉並区立すぎなみ環境情報館処務規程					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区民、団体、事業者などが、環境に関する情報収集、情報交換、政策提言できるよう、環境活動の場の提供や情報発信の場とする。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		環境に関心のある人も無い人も環境学習室を利用し、環境配慮行動に取組む区民を創出する。環境団体等が、講座・講演会などを開催し、環境配慮行動の意識を育てる。					
	活動指標名(式)		(1) 環境学習室の利用回数 (2) 環境団体登録数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (代)環境学習室の利用率 (2)					
指標		区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%			
					計画	実績	計画	実績						
		活動指標(1)	回	680	760	787	800	908	1,000	1,000	90.8			
		活動指標(2)	団体	26	28	29	30	30	35	50	60.0			
		成果指標(1)	%	63.3	70.8	73.2	74.5	84.5	93.1	93.1	90.8			
		成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	26,851	22,998	24,113	28,202	26,797	26,207	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円	23,149	19,855	20,757	20,431	23,219	21,022					
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.80	0.80	0.80	1.00	1.00	1.00	0.80				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	7,280	7,248	7,248	9,060	9,060	9,060				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	2,264				
	総事業費 + +		千円	34,131	30,246	31,361	37,262	35,857	37,531					
	単位あたりコスト( - )÷		円	50,193	39,797	39,849	46,578	39,490	37,531					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	34,131	30,246	31,361	37,262	35,857	37,531						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		施設維持管理(委託等)								8,510				
		講座・講演会事業運営(委託等)						62	回	9,244				
		情報資料コーナー事業運営(委託等)								5,465				
		その他 (消耗品等購入 )								3,578				

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 680 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	113.5	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	95.0
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		講座・講演会の内容等を充実させるよう指示し、一定程度の充実が図られた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	杉並区が力を入れていると評価できる施策(杉並区区民意向調査より) 公害・環境対策と省資源・リサイクル施策 H13 14.3% H14 22.5%					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	地球温暖化問題が身近な問題として感じるようになり、環境情報館で実施する講座等に関心が寄せられている。					
	今後の予測	今後さらに環境情報館の果たす役割は重要になってくると予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 講座・講演会、環境団体の活動の場の提供により、環境配慮行動の推進に大いに貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 講座および啓発イベントなどの企画内容を魅力あるものにする。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 講座等において資料代程度は負担してもらっている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 環境情報館に関する業務で、委託化されていない部分について委託化を進める。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 講座・講演会・自然観察会などの開催、貸室業務、受付業務等をNPO法人「すぎなみ環境ネットワーク」に委託。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 講座・講演会などの企画内容を充実させ、未委託部分の委託化を検討する。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	委託化をさらに進めるため、予算の増を検討中である。

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		省エネルギー・新エネルギーの推進						整理番号	681	枝番号				
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230101	連絡先 電話番号	3398-3195	昨年度 整理番号	701	昨年度 枝番号				
係名		地球温暖化対策担当				上位施策名			No					
予算事業名		環境先進都市の創造		コード	65500	環境配慮行動の推進			18					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		15 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(3)	施策番号		事業コード	5
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区民、NPO等団体、事業者、行政(区)						(1) エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法) (2) 新たな地球温暖化対策推進大綱 (3) 杉並区環境基本計画					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		平成18年6月策定の「杉並区地域省エネ行動計画」に基づき、区内の二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )削減目標の達成に向け、「地球を救えp(^-^)/qすぎなみ省エネ作戦」を推進する。						事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民・NPO等団体、事業者、行政が地域における二酸化炭素削減目標を共有し達成する。					
	活動指標名(式)		(1) 太陽光発電機器設置助成件数 (2)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 杉並区年間CO <sub>2</sub> 排出量 (2)					
指標	活動指標(1)		件	40	50	49	75	67	75	75	75	89.3		
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		kt	1,655							1,394	0.0		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	17,061	22,626	21,057	21,996	17,189	21,752	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等		千円											
	(内) 委託費		千円		6,000	5,968	3,420	3,420	3,500					
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.74	1.90	1.70	0.90	1.00	0.94	0.90	1.00	0.90		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	15,834	17,214	15,402	8,154	8,516	9,060				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	2,830	2,547	2,547				
	総事業費 + +		千円	32,895	39,840	36,459	32,980	28,252	33,359					
	単位あたりコスト( - )÷		円	822,375	796,800	744,061	439,733	421,672	444,787					
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	32,895	39,840	36,459	32,980	28,252	33,359						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)				
			太陽光発電機器システム設置費補助					67	件	12,525				
			地域省エネルギービジョンの推進に関する調査研究(委託等)							3,420				
			地域省エネルギー懇談会開催					4	回	214				
			雨水貯留槽設置費助成					16	件	519				
			その他 ( )							511				

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号	681	枝番号	
------	-----	-----	--

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	89.3	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	78.1
	太陽光発電、雨水貯留槽助成件数が計画に満たなかったため、予算執行率が低くなってしまった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	Webサイト開設のため、19年度予算を増額した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	杉並区が力を入れていると評価できる施策(杉並区区民意向調査より) 公害・環境対策と省資源・リサイクル施策 H13 14.3% H14 22.5%				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	太陽光発電、雨水貯留槽助成に関する問合せが多くなっている。				
	今後の予測	削減目標達成年度が22年度に定められているため、今後、行動計画書に基づく実効性のある事業展開が不可欠である。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:環境基本計画が掲げる4つの挑戦の1つである二酸化炭素排出量の削減と、省エネルギー・再生可能エネルギーの推進は密接に関連しており、具体的な課題・目標としての意義は大きい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:省エネ行動計画に基づき、具体的な施策を展開していくためには、事業費の増額は必要である。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容:再生可能エネルギーの普及促進策として、助成制度の実施が当面必要と考えられるが、助成内容や対象機器等を見直すなど引き続き効果的な支援のあり方を検討していく必要がある。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容:コスト削減の観点から区民等に対する支援内容を見直すことはできるが、当面は費用対効果を見極めつつ事業を実施していく。なお事務の効率化は引き続き進めていく。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 杉並区地域省エネルギー等懇談会を設置し、18年度は4回開催した。				
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後は地域省エネ行動計画に基づく事業展開が中心となっていく。行動計画では平成22年度までにCO <sub>2</sub> の排出量を平成2年度比でマイナス2%削減するためのスケジュールを定めており、事業費の増額は必要となる。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民・事業者などに、いかに省エネ行動の浸透を図るかが大きな課題である。徹底したPRなど、今後の課題である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 行動計画に基づき、(仮称)エネルギー・カフェ、啓発キャンペーンなどの新規事業を予定している。また太陽光発電機器、雨水貯留層の助成事業を継続実施するとともに、高効率機器に対する助成も実施していく。



# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		レジ袋削減対策						整理番号	686		枝番号			
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230218		連絡先 電話番号	3734		昨年度 整理番号	141		昨年度 枝番号	
係名		ごみ減量推進係						上位施策名		No				
予算事業名		マイバッグ運動の推進		コード	17750		環境配慮行動の推進		18					
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		14年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード							
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 消費者・事業者・区内産業団体など				根拠法令等 (1) すぎなみ環境目的税条例 (2) 杉並区レジ袋削減推進協議会補助金交付要綱 (3) 杉並区エコ・シール運営委員会補助金交付要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		街頭宣伝、のぼり旗掲出、路線バス車内放送、区広報等による啓発、小学生向けパンフ配布、ヘラシたい隊員手帳配布、転入者への啓発リーフレット配布、各地域の祭り・イベント出展等。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民・事業者が、生活や事業活動を環境負荷の少ないものに変えていく契機として、レジ袋の使用を控える。							
	活動指標名(式)		(1) レジ袋の削減を呼びかけるチラシ等の配布枚数 (2)				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) マイバッグ等持参状況調査によるマイバッグ等の持参率 (2)							
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度 計画 実績		18年度 計画 実績		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%				
	活動指標(1)	枚	86,201	631,000	48,457	615,800	44,300	325,800						
	活動指標(2)													
	成果指標(1)	%	32	47	35	54	85	60						
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費	千円	24,699	58,218	33,620	38,523	24,292	18,430	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等	千円												
	(内) 委託費	千円	2,908	6,079	13,444	6,079	6,322	6,079						
	職員数(常勤   非常勤)	人	4.06   0.00	4.06   0.00	3.81   0.00	3.06   0.00	3.00   0.00	2.00   0.00	18年度成果指標(1) については、17年度より 隔年実施とした。18 年度は、レジ袋有料化 モデル事業実施店にお ける数値を掲載した。					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	36,946	36,784	34,519	27,724	27,180				18,120		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				0		
	総事業費 + +	千円	61,645	95,002	68,139	66,247	51,472	36,550						
	単位あたりコスト( - )÷	円	715	151	1,406	108	1,162	112						
	財源	受益者負担分	千円											
		国・都等からの支出金	千円											
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	61,645	95,002	68,139	66,247	51,472	36,550						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
18年度の主な取組み	内 容		規 模		単位	事業費(千円)								
	レジ袋有料化モデルの検討(委託等)					6,403								
	エコシール					12,685								
	マイバッグ持参率調査(委託等) 実証実験					1,121								
	レジ袋削減推進協議会					2,462								
	その他 (普及啓発等)					1,621								

# 平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 686 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	7.2	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	63.1
		レジ袋有料化への事業変更により、すぎなみ環境目的税の普及啓発費が残った。 マイバッグ等持参状況調査の隔年実施により、マイバッグ持参率調査費が残った。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		レジ袋有料化モデル検討会の報告を基に、レジ袋削減を目標にレジ袋を有料とする実証実験を1月から区内のスーパーで実施した。 エコシール事業については、18年度をもって終了した。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	マイバッグ等持参率(含併用者):14年7月26.2%、15年7月28.7%、16年7月31.8%、17年7月35.2%。すぎなみ環境目的税条例の認知度:14年7月88.2%、16年1月87.8%。19年4月改正容器包装リサイクル法施行。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	税が実施されたら買物袋を持参する:14年7月59.8%、16年1月70.3%。 レジ袋削減運動の認知度:16年1月74.7%。				
	今後の予測	レジ袋有料化推進条例制定～区内のスーパー等によるレジ袋の有料化。 一般廃棄物処理基本計画の改定～家庭ごみの有料化。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:レジ袋の削減は、誰にでもすぐできる環境配慮行動として、施策への貢献度は大きい。さらに、使い捨ての生活習慣を見直し、簡易包装やリサイクル品の購入といった環境にやさしい生活行動のきっかけとなるなど施策への貢献度は大きい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:区内のスーパー等と協力し、レジ袋を有料化することで、レジ袋削減を図っていく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:レジ袋削減で利益を受けるのは、全ての区民・事業者・次世代の人々であり、特定の個人ではない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:啓発活動は維持、継続していかななくてはならない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題: 杉並区レジ袋削減推進協議会は、区民・事業者・行政の三者が一体となって運動に取り組んでいる。その結果、マイバッグ等持参率は右肩上がりで全国一と自負する水準となったが、啓発運動だけでは目標達成困難という現状もあり、新たな施策としてレジ袋の自主的有料化を推進することにより、一層のレジ袋削減を求めている。				
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容 )					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 レジ袋有料化を推進するために(仮称)杉並区レジ袋有料化推進条例検討会を5月に設置し、今年度中の条例制定に向けた検討を行う。これにあわせて「すぎなみ環境目的税」の見直しを行う。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 全国的にも有料化の動きがあるものの、事業者においては他事業者の動きをみながらとの姿勢もあり、サミットに続く広がりが見られない。事業者への働きかけを一層強化し、自主的な有料化実施する事業者を支援する姿勢を行いつつ、サミットに続く有料化実施を拡大させる。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 レジ袋有料化推進条例制定後の区内スーパー等への支援によって、経費が増加する可能性がある。